

薬師中学校・金井中学校の統合に伴う避難施設機能について

薬師中学校・金井中学校の統合に伴う、現金井中学校のリニューアル工事期間中および工事終了後の避難施設については、地域との話し合いや避難者推計の結果を踏まえ、地域にとって最適な配置とします。閉校となる薬師中学校の跡地においては、避難施設の機能を引き継いでいきます。

避難できる災害の種類		
震災		風水害
金井中	○ (避難者推計800人)	○
薬師中	○ (避難者推計406人)	×

対象	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
金井中	既存校舎		リニューアル工事			☆改修校舎 使用	
薬師中	既存校舎		仮校舎（既存校舎）				

1 2028年度から2030年度の避難施設（リニューアル工事期間）

現金井中学校のリニューアル工事期間は、避難施設としての利用ができなくなるため、地域の皆さまと調整のうえ、周辺の小中学校にて避難施設機能を確保します。工事期間中の避難施設は、藤の台小学校、金井小学校、大蔵小学校、現薬師中学校用地（地震時のみ）を想定しています。

なお、これまで金井中学校で受け入れを予定していた避難者数は、避難者推計の結果、上記の近隣避難施設で受け入れ可能です。

2 2031年度以降の避難施設（リニューアル工事完了後）

現在の金井中学校の位置に整備するリニューアル校舎については、改めて避難施設として指定する見込みです。

リニューアル校舎への移転に伴い、2031年度から閉校となる現薬師中学校用地については、跡地活用の検討と並行して検討していきます。なお、基本的な方針として、学校跡地には100人程度を受け入れ可能な避難スペースを確保するとともに、応急給水栓やマンホールトイレなど、災害時のインフラ支援にあたる機能を引き継ぎます。

3 今後のスケジュール

2028 年度から代替避難施設へ避難するため、2026 年 9 月の避難施設関係者連絡会において、代替避難施設を決定します。その後、2027 年度には新たな避難施設での避難施設関係者連絡会及び避難所開設訓練を行います。その他、スケジュールは以下のとおりです。

対象	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
金井中	避難施設 (風水害時・震災時) ・自主防災組織ごとに工事期間中の避難施設を決定		工事期間 (避難施設として利用不可) 代替避難施設(案) 藤の台小学校・金井小学校・大蔵小学校・薬師中学校(地震時のみ)			避難施設 (風水害時・震災時)			
薬師中	避難施設(震災時)					工事期間 (避難施設として利用不可) ・学校跡地で避難施設を引き継ぐ			